

# 公共施設再編計画を策定中です

現在、全国的に人口減少と少子高齢化が進んでいる中、地方自治体の財政も厳しい状況が続く、また、保有する多くの公共施設の老朽化対策が課題となっています。今回は、本市も抱える同様の課題の解決に向け、策定を進めている「公共施設再編計画」の素案がまるとまり、市民意見交換会を開催しますので、お知らせします。

## 人口・財源の減少

市の国勢調査人口は、昭和35年度の19万8511人をピークに減少が続き、平成27年度時点で12万1924人と

なっています。

国の研究機関によると、人口減少の傾向はまだ続くと言われ、令和22年度には、国勢調査におけるピーク時（昭和35年度）の35%の6万9422人になると予測されています。

れています。

財政状況は、歳入が伸び悩み、歳出における補助費などの義務的経費が占める割合が増加しており、これに伴い、財政の硬直化が進み、政策的な事業を行うための財源が減少傾向にあります。

## 老朽化する公共施設

市が保有する公共施設（延べ床面積が1000㎡未満の施設と歴史的建造物を除く）のうち、建築後30年以上経過した施設の延べ床面積は約68%を占めています（上のグラフを参照）。

厳しい財政状況と公共施設等の老朽化対策という課題の解決と将来の財政負担の軽減を図るため、平成28年度に公共施設等の計画的な管理等を定めた「小樽市公共施設等総

合管理計画」を策定しました。

この総合管理計画において、現在保有する公共施設をこのまま40年間維持し続ける費用を総務省が提示した方法で試算したところ、年平均63・3億円という結果が生まれました。

平成22年～26年の5年間で公共施設の新設・維持にかかった経費の年平均16・7億円と比べると、これから使える財源が減少していく中、約3・8倍の費用を捻出するのは難しいことが分かります。

このことから、今後、行政サービスの実施に支障のない範囲で「公共施設の総量削減」と「長寿命化による更新費用の縮減」を目標とすることにしました。

平成29年度には、老朽度や利用状況などを調査し、利用団体などの意見を踏まえ各施設の在り方を検討しました。

それを基に、耐震性に問題があり、老朽化が進んでいる39施設を再編対象に選定し、施設の安全性の確保やこれからの市民ニーズの変化への対応を考慮しつつ、対象施設の再編の検討を進め、この度、再

編の素案をまとめました。

## 意見交換会にご参加を

この「再編素案」の内容について、第3回定例会で報告を行い、その後、市民意見交換会（左の表を参照）を開催し、市民の皆さんからいただいたご意見を踏まえ、令和元年度（平成31年度）末までに「再編計画」を策定する予定です。



意見交換会の事前申し込みは不要です。ご都合の良い日程・会場でご参加ください。

◆お問い合わせは、契約管理課 ☎4111 内線385、FAX 0675へどうぞ。

公共施設の築年数別延べ床面積

